

東口再開発について

- ・時間をかけるほど機会を失ってしまう。期限を区切るべき。
- ・福島のランドマークになってほしい。

東口に整備する市施設について

<コンベンションホール単独案の方向性で概ね一致>

①コンベンションホール単独案に対する評価

- ・フレキシビリティ(可変性)があるのがよい。
- ・まちとのつながり(通りや商店街との連携など)が重要。まちに開かれた計画となっている。
- ・民間の投資意欲が低下している状況で、集客できる施設が必要。

②市施設の利用イメージなど

- ・GT-Rのファンミーティングやまちコスのイベントなど、コアなファン層をつかむことで県外からも人を呼べる。まち全体への波及が期待できる。
- ・交通の結節点にあるのだから、市外・県外から来る人が福島を知る(わらじまつりの展示や円盤餃子など)コンテンツがほしい。
- ・市民が集える、日常使いのできる施設だとよい。

③市施設の運営方法など

- ・今後、施設を活かす使い方や、運営面での工夫が必要となる。
- ・利用者や通りがかった人の中で、「見る／見られる」の関係が発生することで、賑わいが生まれる。

駅周辺の交通・動線等について

- ・まちの回遊性がキーワードの1つになる。
- ・駅の東西の往来がスムーズになるようにしてほしい。
- ・駅ビルに行きたい場所がない。改修や商業機能の充実を希望する。

西口の商業施設跡について

- ・西口に希望する施設など
(静かな居住環境、公園・緑地、マンション、生鮮食品が揃うスーパーマーケット、スーパー銭湯、漫画喫茶、ファストフードなど)
- ・東口のコンベンション機能だけで、文化活動が全部収まるかどうか。文化センター機能が必要。
- ・劇場ホール機能は必ずしも駅前でなくともよい。
- ・駅は、人と人が出会う場所、みんなが集まれる場所であり、西口にも集客施設があってよい
- ・世界につながるグローバル企業を誘致してほしい。

その他

- ・まちなかに大学等の学校の誘致もしてほしい。
- ・街のシンボルになるようなインパクトあるものが必要。
- ・駅前に、多様な交流やにぎわいが、何のために必要なのかという公益的価値に対する説明が必要ではないか。